



第71号

発行 山辺地区社会福祉協議会 事務局 山辺公民館内 気付 TEL(呼)0284(71)0516

- すなおな心 (はい) 反省の心 (すみません) 謙虚な心 (おかげさま)
奉仕の心 (私がします) 感謝の心 (ありがとう) 山辺地区日常五心

「地域福祉功労」 小堀蒼洋氏(堀込町) 地域福祉への貢献は長く、民生委員を引いてからも理事として活動継続、現在も監査役として後輩の育成、指導に努めている。

「第27回 福祉大会 功労者表彰を主体に遂行」 今年も地域福祉功労賞を5名受賞
足利市民福祉大会が12月10日、市と市社協等の17団体の主催、後援でプラザにて開催された。コロナ禍で3年続いて感染予防の為簡素化し、功労表彰と祝辞を主体に進行した。
本市では平成11年に福祉都市宣言がなされ、すべての人が相互の信頼と連帯を基本に、関係機関との連携を深め、支えあえる福祉社会造りを推進している。市民一人ひとりがこの福祉社会実現の取組みに参加し、人にやさしいまちづくりに努める本年の大会宣言が採択された。
当地区の地域福祉功労受賞は市長表彰3名、市社会福祉協議会長表彰2名が受賞された。
足利市長表彰

「地域福祉功労」 小暮 保氏(田中町) 自治会長として地区社協理事に就き、町内ふれあいサロン運営を強力にバックアップすると共に多岐に亘る地域福祉に貢献

「地域福祉功労」 吉住知子さん(借宿町) 老人給食ボランティア18年、運営委員として会の円満な運営に貢献されており、福祉ボランティアとしても活動されている。
足利市長表彰
「地域福祉功労」 高瀬雅子さん(借宿町) 地区社協理事として17年、事務局長、子育てサロン、機関紙編集等に活躍、現在会計係も担当して地区社協の中核として活動中。
足利市社会福祉協議会長表彰

「特別友愛訪問 実施」 恒例の歳末たすけあい募金配分事業の「特別友愛訪問」を実施した。対象者は見守りが必要な、独居高齢者・老々介護者・昼間独居者・障がい者で、民生委員が要訪問と判断された方。地区内22町で458世帯。愛光園一步のクッキーにお見舞い手紙を添えた内容にて。
2月の特別会食会は中止として代わりに自主財源を用いて第2回特別友愛訪問を行う予定。

「地域福祉功労」 上岡恵子さん(堀込町) 主任児童委員として地区社協理事に就き、子育てサロン、福祉教育支援等で活躍、現在も子育てサロン委員長として活動中。
他の福祉分野での山辺地区からの表彰者は、老人クラブ育成功労者として今泉一氏(西新井町)が、老連会長表彰を受賞された。

第27回 福祉大会 功労者表彰を主体に遂行 今年も地域福祉功労賞を5名受賞



熱演の上原チヨーさん

「お笑い介護レク 視聴」
上原チヨーさんの「サロン代表者会議にて」
5月に続いて11月4日、第2回の会議実施。開催促進支援と補助金支給。全30名の出席。
本年前半状況は、前年度より、開催出来ている所が多くなっており回復傾向が見えてきた。
会議後、市社協提供「芸能人による介護予防・脳トレお笑いパフォーマンス」を視聴した。
上原チヨーさん。真岡市出身吉本興業所属・あなたの町住みます芸人。レクレーション介護士の資格を取って放課後デイサービスで働きながら芸人活動を続けている。
巧みな話術と「トゥー」というギャグを交えて脳トレ体操パフォーマンスを披露、笑い溢れる会場となった。

子育てサロンフェア 開かる

「第21回 山辺の今昔譚 山辺の文化遺産に 寄せて」 山辺賢人子
「67号より続く」
「その八」「天正古地図」
1580年代の作と推定されるが、代官として足利を治めた長尾氏の末期に当たる時代。
その長尾氏の勢力拠点の記録図の様である。誇張が大きいものではあるが、山名、地名等からその時代の地形と町の配置が類推される。構図が南部山辺から北方を俯瞰したもので、手前の山辺周辺の地理が分かり易い。特に渡良瀬川は浅間山の北西で二股に分かれ、北流は現在に近い位置に、南流は八幡、

「子育てサロンフェア」
コロナ禍でまなならぬ子育てサロンの活動のPRと盛上げ支援を期して市社協主催で実施。展示、バザー・出店の他に市内の子育てサロンも活動内容紹介、体験コーナー等に参加。
中でも山辺サロンの得意の企画力を発揮して、会場に参集した児童を集めて「ベビリンピック」(ミニミニ運動会)をメインメニューに参加した。お遊びゲーム感覚で出場の子供達は歓声上げながら頑張り、応援のママや観客も笑顔や拍手で大いに盛り上がった。
山辺7名の女性委員の他に石川会長も講評役で飛入りする等楽しい出し物となり、フェア盛り上げに貢献できた。
堀込、朝倉方面へと描かれている。

「天正古地図」はその凡そ20年後であるが、渡良瀬南流は山辺の真ん中を流れていた時代がその後も続いたよである。
第2の古地図、少し時代の下る「神宮寺境内図」は南流が同様に描かれており、第3の1751年銘記の「八幡村社論所図」では同位置ながら用水掘として理解される、と言つ。(次号へ)



部分図。下部に浅間山と渡良瀬川

「50年前の、ある風景」
八幡銀座、八幡通り、足紡通り、世代によって呼び名が変わる、現在はヤオコー前の道か。
時は昭和、丁度「ちびまる子」の時代。その小学生の目で見たと50年前の「通り」の思い出。
冬の日、通りの店の飾りが秋の紅葉から白やピンクの繭玉になって、東京繊維の正門に竹屋のおじさんが門松を飾って、もうすぐお正月。
さつき通ったおばさんはパーマ屋の帰りがな。自転車の後ろには大きな鮭。工場の寄宿生のお姉さん達、化粧品屋さんの前ではしゃいといふ。
あ、焼きそばの屋台が来た。手の中の10円玉、数えてみよう。